



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 福

上場会社名 Q-タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 江藤 衆児

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,062	64.0	101	361.1	109	396.4	82	—
23年9月期第1四半期	648	—	21	—	22	—	5	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 82百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 5百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年9月期第1四半期	5,680.89	5,583.19
23年9月期第1四半期	392.71	388.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年9月期第1四半期	2,498	782	31.2	53,538.23
23年9月期	2,200	706	32.0	48,357.34

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 780百万円 23年9月期 704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	2,005	57.3	40	240.3	55	96.5	31	910.5	2,144.11
通期	3,569	38.8	81	150.7	110	58.4	62	188.5	4,288.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	14,763 株	23年9月期	14,763 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	191 株	23年9月期	191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	14,572 株	23年9月期1Q	14,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビューの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見積りであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えて下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として厳しい状況下であり、このところ足踏み状態ではあるものの、一部に持ち直しに向けた動きがあり緩やかに持ちなおしてきております。生産は緩やかに持ちなおしており、設備投資の動きも下げ止まりつつあるものの、輸出は弱く、企業収益は減少しています。企業の業況判断は、非製造業や中小企業等で改善していますが、大企業製造業で低下しており、全体として小幅改善となっております。個人消費は横ばい状態が続いています。今後は海外経済の改善や政府の円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策の効果などを背景に、景気が持ち直すことを期待されますが、デフレや金融資本市場の変動の影響など、さらに景気を下押しするリスクにより悪化する懸念が依然として残っていることに留意する必要があります。

当社におきましては、ハロウィン、クリスマスとお菓子にまつわるイベントが続くこの時期は、事業者との取引に加え、個人客の利用が大きく伸びました。個人客は食材の取扱を充実させた前期より、件数・売上高ともに2倍近く伸びとなりました。なかでも食材の利用はその3分の2が個人客となっています。また、子会社㈱プティパについても、クリスマスやバレンタインに向けて「デコレーとペン」や「アラザン」の納品がこの時期であり、商社を通じて全国展開の百貨ショップ店頭の商品が並んでおります。子会社㈱プティパは設立の翌年の平成23年1月に稼働した新工場での「デコレーとペン」製造に加え、大型受注への対応と試行錯誤を重ねながら、わずか2年で黒字化の兆しが見えてくる状況になりました。以上のような経緯から総じて当社グループの業績は堅調に推移できたと考えます。

以上の結果、売上高1,062,857千円（前年同四半期比64.0%増）、営業利益101,158千円（同361.1%増）、経常利益109,237千円（同396.4%増）、当第1四半期純利益82,781千円（同1,346.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,466,772千円（前連結事業年度末1,152,922千円）となりました。その主な内訳は、現金及び預金507,902千円（前連結事業年度末458,636千円）、受取手形及び売掛金311,858千円（前連結事業年度末90,074千円）およびたな卸資産410,532千円（前連結事業年度末390,036千円）であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は、1,031,708千円（前連結事業年度末1,047,390千円）であり、その主な内訳は、土地248,005千円（前連結事業年度末248,005千円）、建物及び構築物516,454千円（前連結事業年度末523,690千円）、のれん57,565千円（前連結事業年度末59,565千円）であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は、816,694千円（前連結事業年度末581,004千円）であり、その主な内訳は、支払手形及び買掛金259,810千円（前連結事業年度末160,495千円）、短期借入金232,540千円（前連結事業年度末107,830千円）、1年内償還予定の社債100,000千円（前連結事業年度末100,000千円）であります。

(固定負債)

当連結会計期間末における固定負債残高は、899,011千円（前連結事業年度末912,742千円）であり、その主な内訳は、社債400,000千円（前連結事業年度末400,000千円）、長期借入金353,042千円（前連結事業年度末363,437千円）であります。

(株主資本)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、782,775千円（前連結事業年度末706,566千円）であり、その主な内訳は、資本金281,875千円（前連結事業年度末281,875千円）、資本剰余金241,234千円（前連結事業年度末241,234千円）、利益剰余金263,906千円（前連結事業年度末188,410千円）であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、営業活動により使用した資金50,845千円（前年同四半期は19,052千円の増加）、投資活動により使用した資金3,700千円（前年同四半期比96.6%減）、財務活動により増加した資金103,811千円（前年同四半期比36.6%増）により、330,902千円（前年同四半期比39.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上高の増加にともなう売上債権の増加248,900千円、法人税等の支払29,243千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益の109,087千円に加え、仕入債務の増加99,314千円、減価償却費21,442千円の計上などによる資金の増加により、営業活動により使用した資金は50,845千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出3,400千円などにより、投資活動に使用した資金は3,700千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出87,490千円、長期借入金の返済による支出10,395千円などによる資金の減少に対し、短期借入れによる収入212,200千円による資金の増加により、財務活動により増加した資金は103,811千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月14日に発表いたしました連結業績予想についての変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,636	507,902
受取手形及び売掛金	90,074	311,858
有価証券	50,000	50,000
たな卸資産	390,036	410,532
未収入金	130,064	155,842
その他	35,494	32,028
貸倒引当金	△1,384	△1,391
流動資産合計	1,152,922	1,466,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	523,690	516,454
土地	248,005	248,005
リース資産(純額)	90,371	88,019
その他(純額)	43,012	42,715
有形固定資産合計	905,079	895,194
無形固定資産		
のれん	59,565	57,565
その他	58,302	54,683
無形固定資産合計	117,868	112,248
投資その他の資産	24,442	24,266
固定資産合計	1,047,390	1,031,708
資産合計	2,200,313	2,498,481
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	160,495	259,810
短期借入金	107,830	232,540
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	41,580	41,580
未払法人税等	30,546	24,132
ポイント引当金	18,281	20,687
賞与引当金	11,862	3,108
その他	110,408	134,836
流動負債合計	581,004	816,694
固定負債		
社債	400,000	400,000
新株予約権付社債	55,000	55,000
長期借入金	363,437	353,042
その他	94,305	90,969
固定負債合計	912,742	899,011
負債合計	1,493,747	1,715,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,875	281,875
資本剰余金	241,234	241,234
利益剰余金	188,410	263,906
自己株式	△6,857	△6,857
株主資本合計	704,663	780,159
新株予約権	1,902	2,616
純資産合計	706,566	782,775
負債純資産合計	2,200,313	2,498,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	648,083	1,062,857
売上原価	427,788	710,676
売上総利益	220,295	352,181
販売費及び一般管理費	198,355	251,023
営業利益	21,939	101,158
営業外収益		
受取利息	253	239
補助金収入	—	9,500
協賛金収入	3,074	3,157
その他	425	492
営業外収益合計	3,753	13,390
営業外費用		
支払利息	3,302	4,900
その他	382	410
営業外費用合計	3,685	5,311
経常利益	22,007	109,237
特別利益		
貸倒引当金戻入額	179	—
特別利益合計	179	—
特別損失		
訴訟関連損失	1,000	150
特別損失合計	1,000	150
税金等調整前四半期純利益	21,186	109,087
法人税、住民税及び事業税	10,691	23,347
法人税等調整額	4,772	2,958
法人税等合計	15,464	26,305
少数株主損益調整前四半期純利益	5,722	82,781
四半期純利益	5,722	82,781

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,722	82,781
四半期包括利益	5,722	82,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,722	82,781
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,186	109,087
減価償却費	13,066	21,442
のれん償却額	1,500	2,000
株式報酬費用	—	713
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,091	△8,754
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△241	7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△359	2,405
受取利息及び受取配当金	△253	△239
支払利息	3,302	4,900
売上債権の増減額(△は増加)	△49,006	△248,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,764	△20,495
仕入債務の増減額(△は減少)	59,168	99,314
その他	5,283	21,572
小計	40,791	△16,944
利息及び配当金の受取額	11	7
利息の支払額	△3,182	△4,664
法人税等の支払額	△18,568	△29,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,052	△50,845
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△98,541	△3,400
無形固定資産の取得による支出	△7,192	△300
投資有価証券の取得による支出	△2,000	—
その他	2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,730	△3,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	212,200
短期借入金の返済による支出	—	△87,490
長期借入れによる収入	40,000	—
長期借入金の返済による支出	△6,916	△10,395
配当金の支払額	△5,499	△5,908
その他	△1,595	△4,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,988	103,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,689	49,266
現金及び現金同等物の期首残高	250,417	281,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	237,727	330,902

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。